

## 令和5年度地域包括支援センター運営部会議事録

日時 令和5年6月29日(木)  
午後2時00分～3時00分  
会場 豊明市役所新館3階会議室10

出席：太田委員、山口委員、岩井委員、原口委員、堅田委員、川津委員

1、あいさつ 長寿課長  
太田部会長

### 2、議題

(1) 令和4年度地域包括支援センター運営体制について(資料1)

- ・資料1-1のとおり、第8期介護保険事業計画の「ふつうに暮らせるしあわせを支える地域の力づくり」を基本理念とし、『地域包括システムの深化・推進』を具現化していく。
- ・重層的支援体制整備事業の実施により、1つの世帯に複数の課題がある8050問題のような事例への支援体制を強化していく。地域包括支援センターの総合相談事業がその1つを担っていくこととなる。
- ・地域包括支援センターの現状として、家族の課題や事業所からの相談として高齢者以外に係る相談に対応する事例が増えている。
- ・増え続けていた高齢者人口が令和4年度末に前年度より減少したが、後期高齢者人口は増え続けており、2025年問題が既に始まっているような状態にある。
- ・地域包括支援センターへの相談件数も増えている。

(2) 令和4年度地域包括支援センター実績報告及び令和5年度地域包括支援センター事業計画

北部地域包括支援センター(資料2)

- ・世帯全体への支援が必要なケースへの対応が増えている。

中部地域包括支援センター(資料3)

- ・現在、西田保健師が管理者代行を務めており、9月より正式に管理者となる予定である。

南部地域包括支援センター(資料4)

- ・重層的支援体制の理念を念頭に支援を実施した。認知症機能強化型地域包括支援センターとして、認知症事業にも積極的に取り組み、認知症サポーター数1万人の目標に到達した。

川津委員

・ 館でボランティアとしてカフェを実施しているが、通っているのは元気な人ばかりで、包括から紹介された人は続けて通うことができていないので、対応願いたい。

太田部会長

・ 母の介護をした際に日曜日以外は仕事で相談できなかった。土曜日の相談件数は増加傾向であるか。

回答（中部包括）

・ 増加傾向があるが、相談件数全体増加であって、土曜日だけ増加している訳ではない。

太田部会長

包括支援センターを増やす可能性があるか。

回答（事務局）

・ 国の交付金を受けて包括支援センターの運営を実施しているが、豊明市の規模であれば、3か所の設置が可能である。基幹型包括支援センターの設置も検討しているが、現状では具体的にお示しできる状態ではない。

原口委員

・ 多世代交流を実施している市町もあるが、豊明市では実施しているか。

回答（中部包括支援センター）

・ 認知症カフェを実施している会場の横に児童館があるため、本の読み聞かせをするなどの交流をしている事例がある。